社説

海軍軍人の養成

海軍學術の進歩に隨ひ軍艦兵器の構造作用は巧妙精密を極めて海戰は殆んど機械の戰爭と云ふも可なる程の次第に立至りたれば之を運用操縱するに充分なる智識と熟練とを要するは勿論にして即ち軍人養成の容易ならざる所以なれども前に述べたる如く目下海軍擴張の場合に際し其養成は最も急を告げて軍艦の製造と共に是非とも所要の人員を備へざる可らざるの必要あるからには臨時應急の手段として妥當り數分か修學の期限を縮むると同時に大に實地練習を奬勵して從來に增して經驗の魂を養ましむるの方法を取るときは實際の執務に差支なくして適當の乘組員を得るに難からざる可し既近海軍術の進歩と共に海軍の訓練とかく實地を疎にして理論に流るゝの傾きあるは老練なる外國海軍家の常に戒しむる所にして左なきだに實地練習の一事は最も重きを置く可き筈なれども從來我國の海軍は一に經費の充分ならざると一には軍艦の不足なるとの爲めに充分に目的を達するみと能はざるの觀なきに非ず我輩の遺憾に思ひたる所なるに今や擴張の計畫を實行して軍人の養成を急にするの必要に迫りたる上は大に其事を奬勵して優に學期短少の缺を補ふに餘りある可き熟練經驗を得せしむるの手段肝要なり其方法は自から多々あらんなれども我輩の所見を以てすれば彼の海軍生徒を乘せて外洋に航する練習艦の如きも自から其教を增す可きは勿論近海の巡航と共に遠洋航海を敢にして頻々みれを行ふ其中にも特に新嘉坡以東、南洋群嶋の邊より支那朝鮮富領の海邊には絶えず巡廻往來して三四隻の軍艦は常に其海上に浮ばしむるみとす可し斯くて航海運用の術に熟して如何なる暴風狂瀾の海面も之を侵るみとを旦途の如くならしむるは申す迄もなく東洋の海理天候等に暗熟するは特に日本海軍の長所として世界に認めらるゝに至るを期せざる可らず又砲術の練習の如きも從來經費の一點に制せられて實彈射撃の數は外國の海軍に比して甚だ少なきよしなれども是等の事も經費を愛しまず適當の熟練を得せしむ可し又大小の演習は戰闘中に起る可き各種の疑問を解釋し戰略戰術の得失、人員材料の能否を判斷し又將卒の實戰の場合に處する勇敢勇氣を鼓舞するを目的として海軍の訓練上に缺く可らざるものなれば毎年必ず實行して其效能を收むるみとに注意す可し要するに將校水兵に論なく艦内の職務を滿足に行ひ恐怖沈勇、海員に必要なる資格を具ふるは永く海上に在りて危險を冒し艱難に堪へ知らず〳〵の間に使備を練磨するみと肝要なり艦内の職務に熟心し艦内の作業に通曉するも有爲の海員たるを得ざるものなれば何は兎もあれ實地練習に重きを置て熟練經驗を積ましむるに勉む可し我國の海軍將校を見るに正則[illegible]を經て昇進したるものも多けれども現に有[illegible]して指揮する可き經驗なきの中には單に[illegible]り現在の[illegible]を得て優に職務を行ふものなき[illegible]に[illegible]は[illegible]に見ざりし一高嶋以上の大艦[illegible]すれば其操縱操練は一に實場の[illegible]そなるを得ず我輩が特に熟練經驗の必要を主張する所以にして能く此點に注意して怠らざるときは充分に軍人養成の目的を達するみと疑なし又軍艦製造の期限を繰上げて年々新艦の竣成するものあるも之に應じて準備艦の制を盛に實行して其乘組員の數を減ずるの方法もあるが故に實際に於ては人員の不足を告ぐるの心配もなかる可し我輩の所見を以てすれば軍人の養成をして軍艦の製造と相伴はしむるの方法は自から乏しからずとして只管擴張の決斷を希望するものなり尚ほ養成法に關して一二の注文を云へば海軍將校は時々海外を巡航して外人に接し事情を視察するの必要あるは勿論、場合に由ては外交の事にも當り可きものなれば其教育には外國語并に國際法を奬勵せるの必要あるは勿論、場合に由ては外交の事にも當り可きものなれば其教育には外國語并に國際法を奬勵せざる可らず英國の海軍にては外國語に通ずる將校は通譯官の資格を得て特に優待せらるゝの法ありと云ふ（一日に一志六片乃至二志六片の加俸を受く）又將校は部下の使備を詳にし部下の兵員は上官に信服するに非れば實際の運動に堪ること能はざるの時は乘組員たるものは常に其乘組の特性を知悉せざるときは運轉操縱の巧妙自在を得べからず佛國海軍の如きは特に規則を設けて常備並に準備艦隊の乘組將校は各季の間を除くの外は何等の名義を以てするも一切轉勤交迭を得ざらしめ又下士卒の轉勤は成る可く構造機器の同一なる艦船の間に行ふの例なりチルソンの言に兵員の海軍を嫌惡する主因は彼等をして安に轉勤せしむるに在り之が爲めに兵員は將校を知り將校も亦彼等を知るの暇なく偶ま〳〵行路の人たる感あらしむるのみと云ひ又有名なる英國の海軍大將ホーンベイは海軍將校にして自から親しく訓練したる兵員を指揮するに於ては艦隊乘組員に關して最早や望む所のものなしと云へり熟練經驗の結果を收めんとするには乘組員の轉勤を屢ばせざるみと肝要なりと知る可し其他老朽不用の輩を能めて後進生昇進の途を開き又進士官より士官に進むの特例を設け年功者を優遇する等軍人の氣風を奬勵するの工風もある可し目下の時機に應急の處置として當局者の須らく注意す可き所のものなり

○墨國特報

十一月四日

在墨國、孤劍生

火災保險的都市　墨府の市街は一種のパノラマ的奇觀なり遠く希臘、羅馬の建築法を學び來つて建て連れた滿都の家屋は石を以て骨とし「セメント」を以て皮となす其堅牢なるみと一種の城壁の如く我が日本の土藏造り他に論なく艦内の職務を滿足に行ひ恐怖沈勇、海員に必要なる資格を具ふるは永く海上に在りて危險を冒し艱難に堪へ知らず〳〵の間に使備を練磨するみと肝要なり艦内の職務に熟心し艦内の作業に通曉するも有爲の海員たるを得ざるものなれば何は兎もあれ實地練習に重きを置て熟練經驗を積ましむるに勉む可し我國の海軍將校を見るに正則[illegible]を經て昇進したるものも多けれども現に有[illegible]して指揮する可き經驗なきの中には單に[illegible]り現在の[illegible]を得て優に職務を行ふものなき[illegible]に[illegible]は[illegible]に見ざりし一高嶋以上の大艦[illegible]すれば其操縱操練は一に實場の[illegible]そなるを得ず我輩が特に熟練經驗の必要を主張する所以にして能く此點に注意して怠らざるときは充分に軍人養成の目的を達するみと疑なし又軍艦製造の期限を繰上げて年々新艦の竣成するものあるも之に應じて準備艦の制を盛に實行して其乘組員の數を減ずるの方法もあるが故に實際に於ては人員の不足を告ぐるの心配もなかる可し我輩の所見を以てすれば軍人の養成をして軍艦の製造と相伴はしむるの方法は自から乏しからずとして只管擴張の決斷を希望するものなり尚ほ養成法に關して一二の注文を云へば海軍將校は時々海外を巡航して外人に接し事情を視察するの必要あるは勿論、場合に由ては外交の事にも當り可きものなれば其教育には外國語并に國際法を奬勵せざる可らず英國の海軍にては外國語に通ずる將校は通譯官の資格を得て特に優待せらるゝの法ありと云ふ（一日に一志六片乃至二志六片の加俸を受く）又將校は部下の使備を詳にし部下の兵員は上官に信服するに非れば實際の運動に堪ること能はざるの時は乘組員たるものは常に其乘組の特性を知悉せざるときは運轉操縱の巧妙自在を得べからず佛國海軍の如きは特に規則を設けて常備並に準備艦隊の乘組將校は各季の間を除くの外は何等の名義を以てするも一切轉勤交迭を得ざらしめ又下士卒の轉勤は成る可く構造機器の同一なる艦船の間に行ふの例なりチルソンの言に兵員の海軍を嫌惡する主因は彼等をして安に轉勤せしむるに在り之が爲めに兵員は將校を知り將校も亦彼等を知るの暇なく偶ま〳〵行路の人たる感あらしむるのみと云ひ又有名なる英國の海軍大將ホーンベイは海軍將校にして自から親しく訓練したる兵員を指揮するに於ては艦隊乘組員に關して最早や望む所のものなしと云へり熟練經驗の結果を收めんとするには乘組員の轉勤を屢ばせざるみと肝要なりと知る可し其他老朽不用の輩を能めて後進生昇進の途を開き又進士官より士官に進むの特例を設け年功者を優遇する等軍人の氣風を奬勵するの工風もある可し目下の時機に應急の處置として當局者の須らく注意す可き所のものなり

○墨國、孤劍生

百鬼遊行　墨府に在りて街路を往來するもの其過半は銅色の皮膚を敝衣の際より露はして炎天に爆きて燃ゆるが如き砂石をも徒跣の脚下に踏被しつゝ歩行する土人の類なり土人中精々體載を裝ふ者の如き男子は頭に蓆製の尖頭形帽子を戴き足には皮を以て製したる靴（日本の草鞋に似て「ワラチエ」と稱せらる或は一方よりレボソと稱する襟巻類似の廣き布を纏ふて唯だ顔のみを露はす宛然たる是れ連麿大師の裝なり墨國の習慣として婦人は外出の際、帽を被らずレボソを用ゆるを常とす唯だ身分の上下に從つてレボソの料に綿布と綿布の差別あり其色合は概して黒色無地を貴ぶも綿布のものに至つては多く形付地なりとす」

大地爲枕天爲蓆　奇裝の土人、路傍に露店を構へて不潔、嘔吐を催す計りの食品を陳列するあり銅色の顔を赤りて店前に喉鼓を鳴らすもの多し又夜間、土人は市上の軒下に草莚の夢を貪るもの東西到る處に夥しく殊に奇怪なるは土人が食物を路上に相乘り家族團欒して一場の食膳を市人と共に分つの習慣は是れなり

墨國内に於て夢にだも見る能はず三層四層の石造高層は我日本なりせば忽ち地震の犠牲となるべきも墨國の地、火山脈に屬するに似ず今を距る百五十年前、一回の大地震ありしのみにて寧ろ震災少なければ住民は[illegible]石造家屋の危險を感ぜざる樣子なり

街衢井然　石造の家屋は基盤面の如く配置せられて市街頗る井然たり街路の兩側を人道とし中央を車道とし區劃の正しくして能く整ひたるは東京市街の亂雜なるに同日の談にあらず

奇絶怪絶の町名　墨府によりて最も解するに苦ひ所のものは市街の一町毎に名稱の異るみと我が國に似たるが如き是れなり凡べて米國などにては市街の區劃井然たるより一條の街路如何に長くして幾十町に渉るも呼ぶに一箇の名稱を以てし各家、番號を以て之を識別するの制なるも墨國は之に異りて且つ番地の標札さへ掲げらざれば一々何町何番地と之を探索する面倒は旅客等の殆んど堪へ得る所にあらず而して其町名の奇妙なるには又た一驚を喫せざるを得ず試に其二三を擧ぐれば「基督の母の所縁の町」「紙帶町」「死町」「戰爭町」「神の兒の脊の町」等の名あり殊に薔薇高僧の名或は神墨の名詞を採りたるもの多し其他、市内商店の屋號にも又た奇怪なる名稱多く一々之を譯解し得るに於ては旅客に取りて好笑料たるべし而して墨府の市街は其名稱の奇怪なる丈け其外觀亦奇々妙々なり

貧富懸隔　墨國の社會は貧富の懸隔甚だしく殆んど中等會社なるものあるみとなし是れ西班牙が墨國を支配せし當時に於て西班牙人は壇に威服を弄して墨國人を虐待し唯だ恐怖を愚にするの術を藍したるに依るべし現今墨國の上等社會は皆な西班牙人の統族にして下等社會は概ね墨國土人の血類なり墨國土人は一たび西班牙人の征服に遊ひ久しく其威力の下に屈服せしも幸にして彼の米國印度人が生存競爭上「アングロサクソン」人種に打負けて其血族多く剪滅せられたるが如き[illegible]に似ず優に西班牙人種に拮抗して其勢氣を維持し現に今の墨國人日中、西班牙人種なる上等社會は僅かに十分の二三を占ひるのみにして其他は皆な銅色人種の墨國土人たるなり

百鬼遊行　墨府に在りて街路を往來するもの其過半は銅色の皮膚を敝衣の際より露はして炎天に爆きて燃ゆるが如き砂石をも徒跣の脚下に踏被しつゝ歩行する土人の類なり土人中精々體載を裝ふ者の如き男子は頭に蓆製の尖頭形帽子を戴き足には皮を以て製したる靴（日本の草鞋に似て「ワラチエ」と稱せらる或は一方よりレボソと稱する襟巻類似の廣き布を纏ふて唯だ顔のみを露はす宛然たる是れ連麿大師の裝なり墨國の習慣として婦人は外出の際、帽を被らずレボソを用ゆるを常とす唯だ身分の上下に從つてレボソの料に綿布と綿布の差別あり其色合は概して黒色無地を貴ぶも綿布のものに至つては多く形付地なりとす」

大地爲枕天爲蓆　奇裝の土人、路傍に露店を構へて不潔、嘔吐を催す計りの食品を陳列するあり銅色の顔を赤りて店前に喉鼓を鳴らすもの多し又夜間、土人は市上の軒下に草莚の夢を貪るもの東西到る處に夥しく殊に奇怪なるは土人が食物を路上に相乘り家族團欒して一場の食膳を市人と共に分つの習慣は是れなり

墨國内に於て夢にだも見る能はず三層四層の石造高層は我日本なりせば忽ち地震の犠牲となるべきも墨國の地、火山脈に屬するに似ず今を距る百五十年前、一回の大地震ありしのみにて寧ろ震災少なければ住民は[illegible]石造家屋の危險を感ぜざる樣子なり

街衢井然　石造の家屋は基盤面の如く配置せられて市街頗る井然たり街路の兩側を人道とし中央を車道とし區劃の正しくして能く整ひたるは東京市街の亂雜なるに同日の談にあらず

奇絶怪絶の町名　墨府によりて最も解するに苦ひ所のものは市街の一町毎に名稱の異るみと我が國に似たるが如き是れなり凡べて米國などにては市街の區劃井然たるより一條の街路如何に長くして幾十町に渉るも呼ぶに一箇の名稱を以てし各家、番號を以て之を識別するの制なるも墨國は之に異りて且つ番地の標札さへ掲げらざれば一々何町何番地と之を探索する面倒は旅客等の殆んど堪へ得る所にあらず而して其町名の奇妙なるには又た一驚を喫せざるを得ず試に其二三を擧ぐれば「基督の母の所縁の町」「紙帶町」「死町」「戰爭町」「神の兒の脊の町」等の名あり殊に薔薇高僧の名或は神墨の名詞を採りたるもの多し其他、市内商店の屋號にも又た奇怪なる名稱多く一々之を譯解し得るに於ては旅客に取りて好笑料たるべし而して墨府の市街は其名稱の奇怪なる丈け其外觀亦奇々妙々なり

貧富懸隔　墨國の社會は貧富の懸隔甚だしく殆んど中等會社なるものあるみとなし是れ西班牙が墨國を支配せし當時に於て西班牙人は壇に威服を弄して墨國人を虐待し唯だ恐怖を愚にするの術を藍したるに依るべし現今墨國の上等社會は皆な西班牙人の統族にして下等社會は概ね墨國土人の血類なり墨國土人は一たび西班牙人の征服に遊ひ久しく其威力の下に屈服せしも幸にして彼の米國印度人が生存競爭上「アングロサクソン」人種に打負けて其血族多く剪滅せられたるが如き[illegible]に似ず優に西班牙人種に拮抗して其勢氣を維持し現に今の墨國人日中、西班牙人種なる上等社會は僅かに十分の二三を占ひるのみにして其他は皆な銅色人種の墨

猶は午後八時酒肆に富みて越しの錢を飲衣飲食費衣服は垢染を有せず四季を問へば日日る家屋にして屬なく半間のなす室内床[illegible]くるのみ而して常と垂流し最も一事なり便所等の便所とは在りては男女を散布し異[illegible]温風一たび[illegible]べからず殊に[illegible]べからず然[illegible]屎して後ち[illegible]拭ふの物料に[illegible]點わりて不[illegible]る始末なり

○三崎縣　[illegible]縣治局長は[illegible]の勢力を割[illegible]申込をなし[illegible]且[illegible]職する[illegible]